

■整備方針

- ・定山溪地区の小学校と中学校を再編し、定山溪中学校の敷地に義務教育学校を設置します。
- ・義務教育学校としての校舎を新たに整備し、児童会館との複合化を図るほか、敷地内に郷土博物館を整備します。
- ・現在の中学校の屋内運動場は床や照明等を改修して活用します。
- ・令和4年度から実施設計、令和5年度から建築工事に着手し、令和7年度の開校を予定しています。

■新築施設の計画規模

<p>既存校舎 (鉄筋コンクリート造)</p> <p>小学校校舎 3,019㎡</p> <p>中学校校舎 2,255㎡</p>	<p>新校舎 (木造一部鉄筋コンクリート造)</p> <p>校舎 約 3,575㎡</p> <p>うち</p> <ul style="list-style-type: none"> ■校舎 約 3,150㎡ ■給食室 約 200㎡ ■郷土博物館(別棟) 約 75㎡ ■児童会館 約 150㎡
--	--

■配置及び平面計画の概要



○安全性

- ・校舎中央に昇降口、西側に給食室を配置し、歩車分離を図ります。
- ・職員室は教室や昇降口付近、通学路を確認しやすい配置とします。

○学習環境

- ・日常的に異学年の活動を感じられるように、多目的室や図書室を介して普通教室が南北に向かい合う配置とします。
- ・教室はワークスペースや廊下の上部高窓により、安定した採光と通風を確保します。

○メンテナンス性

- ・庇を設けることで外壁や窓を保護します。
- ・上部高窓は積雪を見込んだ高さとし、雪をのせたまま採光を確保します。
- ・平屋建てとすることで、雪庇の処理をしやすくします。

○工期・施工計画

- ・学習活動への影響が最小限となるように配慮した工期・施工計画とします。
- ・児童生徒の安全を確保した施工計画とします。

○その他

- ・郷土博物館は地域への開放を想定し、駐車場や道路からアクセスしやすい配置とします。
- ・児童会館は昇降口と隣接し、屋内運動場が活用しやすい配置とします。

■工事工程表及び建て替え計画

工事工程表	令和5年度(2023年度)												令和6年度(2024年度)												令和7年度(2025年度)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	STEP1												STEP2												STEP3											
新築・改修工事等	新校舎建設(14ヵ月)												屋内運動場改修、一部増築等(1ヵ月)												★ 開校											
解体工事等													既存校舎解体/前庭等整備(8ヵ月)																							
その他													グラウンド(遊具)整備(6ヵ月)																							

建て替え計画

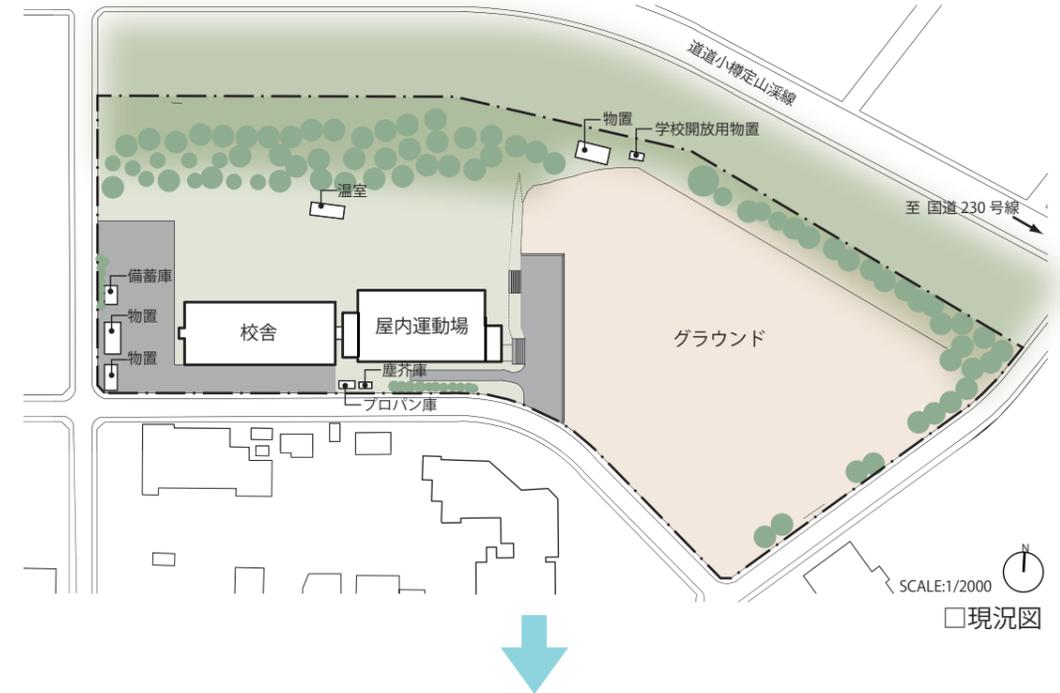
凡例

- 児童動線
- 給食、サービス車動線
- 工事車動線

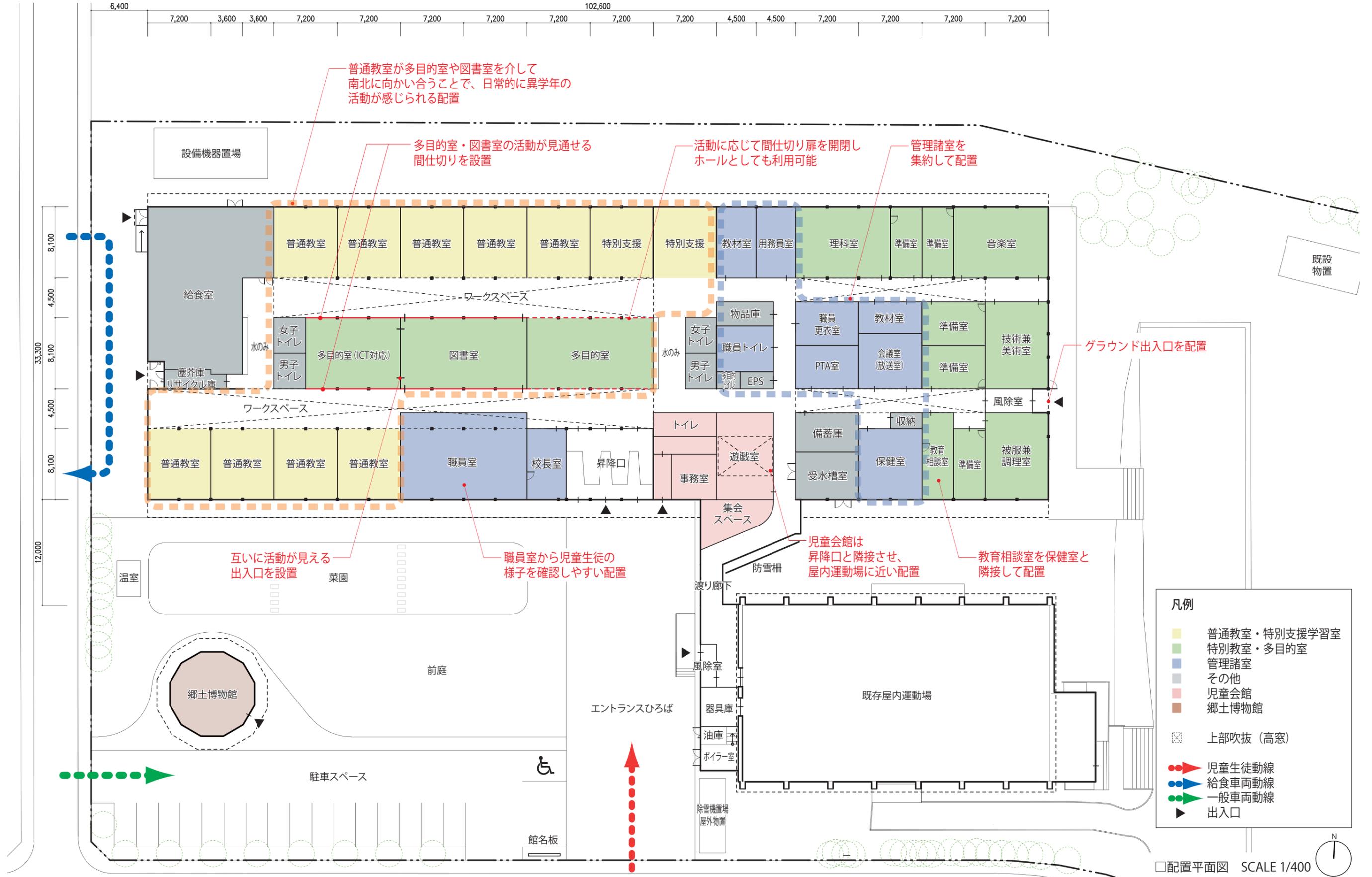
STEP1 新校舎建設/屋内運動場改修

STEP2 既存校舎解体/遊具等整備

STEP3 前庭等整備/遊具等整備



■配置平面図



■イメージパース



□南側市道からの外観イメージ



□郷土博物館からの外観イメージ



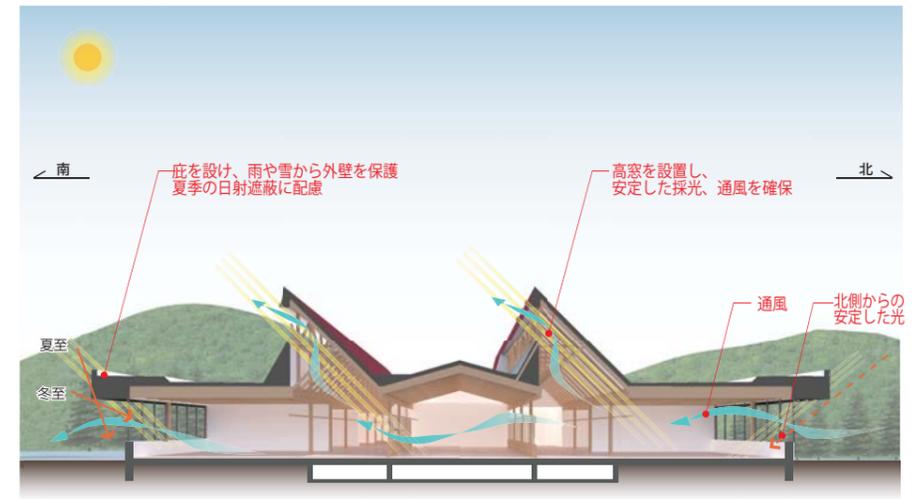
□グラウンド側からの外観イメージ



□北側ワークスペースからの内観イメージ



□北側普通教室からの内観イメージ



□断面イメージ